

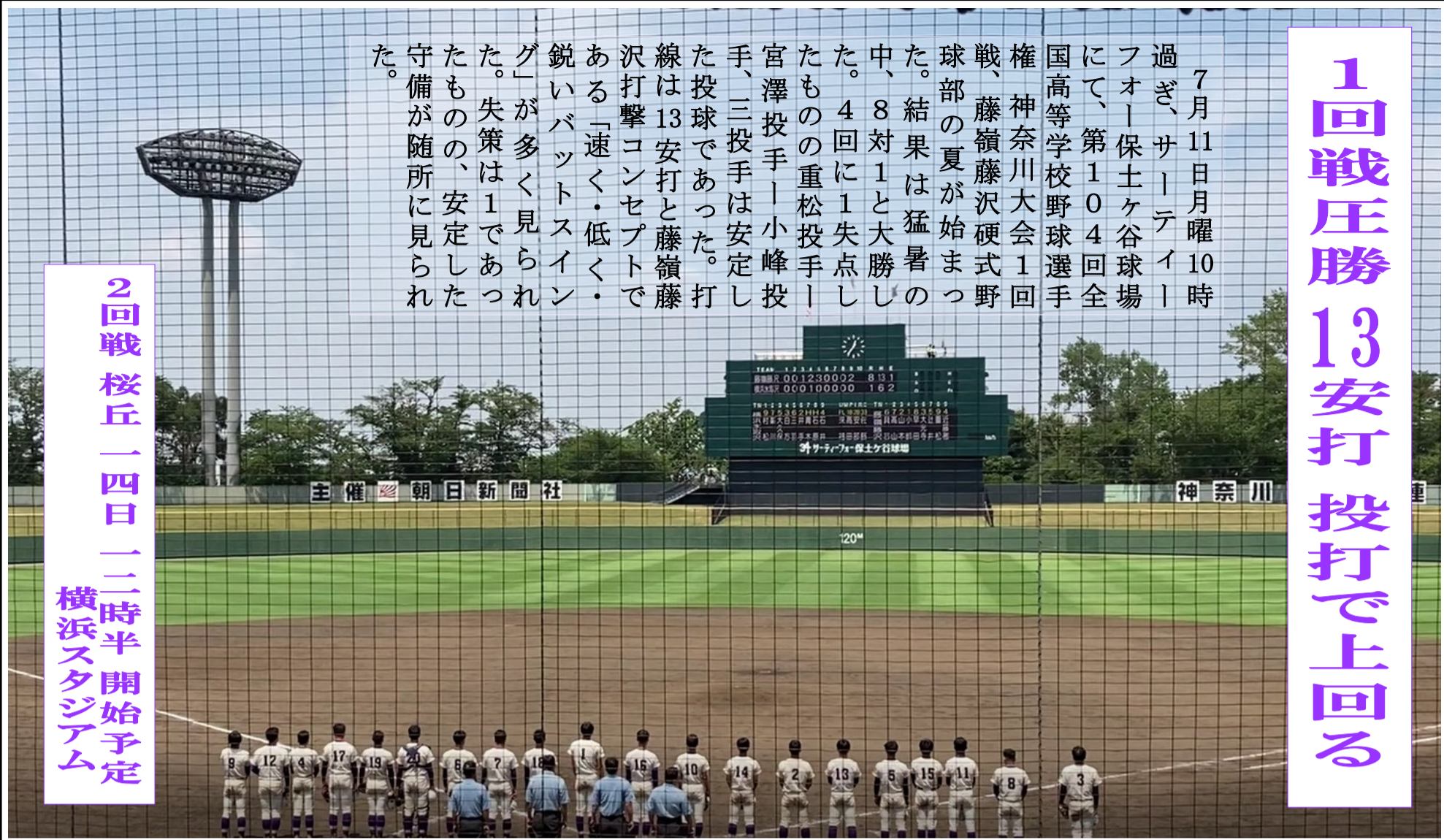
大銀杏

野球号外①
令和4(2022)年
7月12日
藤嶺学園藤沢
中学校・高等学校
新聞部
(高校)
中田大翔 井上晃喜
村元颯泰 櫻山翔太
片桐伊織 高橋 新
三田航太郎 荒嶋航成
井上晴道 水野 真
野田 諒 細貝 陽
秋元鴻佑 植竹隼也
田中湧大
(中学校)
経澤悠希 川村一樹

1回戦圧勝 13安打投打で上回る

7月11日月曜10時過ぎ、サーティーフォー保土ヶ谷球場にて、第104回全国高等学校野球選手権 神奈川大会1回戦、藤嶺藤沢硬式野球部の夏が始まった。結果は猛暑の中、8対1と大勝した。4回に1失点したものの重松投手―宮澤投手―小峰投手、三投手は安定した投球であった。打線は13安打と藤嶺藤沢打撃コンセプトである「速く・低く・鋭いバットスイング」が多く見られた。失策は1であったものの、安定した守備が随所に見られた。

2回戦 桜丘 一四日 二時半開始予定
横浜スタジアム



1回、2回、試合の序選手、新井選手と活躍の勢いであった。5回裏盤はお互いにどちらの攻め、攻撃がつかぬ2点を0で抑え本校が試合の撃もすぐに3アウトとを追加した。4回裏、水流れを完全に抑えた。表、本校の具ずかなチャンスから水取く、一進一退の試合が続志選手のヒット沢選手の気持ちがいかにいた。9回表、本校が2トを皮切り強いかわいられた1点を追加し、9回裏もに、横浜水取点であった。後半戦、こしつかりと抑え本校は沢から1点先の試合最大の見どころは8―1で勝利を収めた。取した。これ突然訪れた。5回表、1【文井上晴写真井上晃秋元水野】

が試合の流れ墨にランナーをを掴む大事な置き、小早川選1点であった手の2点本塁打た。4回表、が炸裂し、この佐藤選手、菅野た。まさに怒涛原選手、菅野た。まさに怒涛



速く・低く・鋭いバットスイング、次戦も期待。

TEAM	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	R	H	E
藤嶺藤沢	0	0	1	2	3	0	0	0	2		8	13	1
横浜水取	0	0	0	1	0	0	0	0	0		1	6	2

TN	1	2	3	4	5	6	7	8	9	UMPIRE	TN	1	2	3	4	5	6	7	8	9				
横	9	7	5	3	6	2	H	H	4	PL	18	28	38	藤	6	7	2	1	8	3	5	9	4	
村	久	松	川	保	方	羽	手	木	原	井	福	田	部	辰	沢	志	山	本	峰	田	寺	井	松	徹

34サーティーフォー保土ヶ谷球場



藤嶺藤沢 一塁側スタンドには野球部員、吹奏楽部員、保護者、一般の方の姿があった。平日にもかかわらず多くの方々からの応援は目を引いた。

横浜水取沢 観戦の声

8回表裏の間に、観戦していた横浜水取沢高校生へ観戦の感想を尋ねたところ「友達が選手として出場している試合なので、試合を見ていて楽しい」と語ってくれた。本校の怒涛の攻撃が印象に残る試合であったが、この横浜水取沢生の言葉も印象深く、高校野球を表す言葉のように感じた。次戦では藤嶺藤沢選手の声を届けたい。【井上晴】